

1、飯伊地域の地域経済循環

ご案内の通り、地域経済循環分析は市町村や都市圏の単位で生産、分配、支出の三面で分析するものである。下の資料は、環境省の地域経済分析ツールを用いて、飯伊の市町村の地域経済循環を見たものである。

飯伊地域では、すべての市町村で地域の生み出す付加価値額以上に地域住民、企業への分配額があり、これは飯伊全体で1,381億円の財政移転などが行われていることから生じている。表中の地域経済循環率は、付加価値額を分配額で除したもので、値が低いほど他地域から流入する所得への依存度が高く地域経済の自立度を示すとされるが、特に中山間地で地域経済循環率が低い。

	①生産(付加価値額)	②分配(所得)	③支出	④地域経済循環率 (①/② %)
飯田市	3,653	4,061	3,653	89.9
松川町	405	540	405	75.1
高森町	344	496	344	69.3
阿南町	120	223	120	53.7
阿智村	188	310	188	60.6
平谷村	14	35	14	39.0
根羽村	28	73	28	39.1
下條村	90	163	90	55.3
売木村	16	43	16	38.0
天龍村	34	95	34	35.8
泰阜村	38	99	38	38.7
喬木村	141	268	141	52.5
豊丘村	177	304	177	58.1
大鹿村	38	86	38	44.7
飯伊計	5,287	6,797	5,287	77.8

①、②、③単位：億円

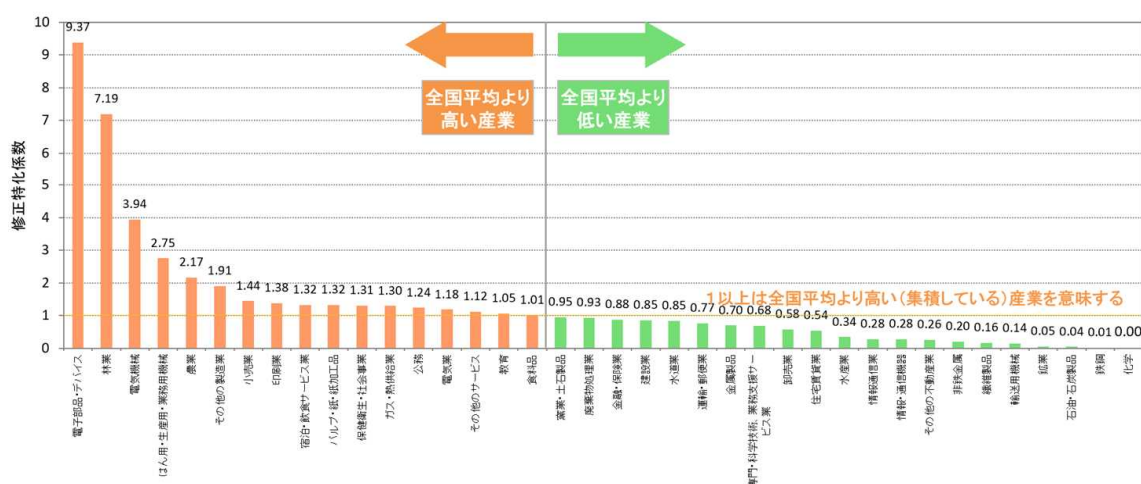
2、飯伊地域の地域経済循環における生産面の特徴

生産面では地域の稼ぐ力を分析することになるが、比較優位な産業を特化係数で、地域で絶対優位な産業を労働生産性で、地域外から稼いでいる産業を純移輸出で示していくとされる。さらに、地域の核となる産業を、地域産業連関表を用いた感応度係数及び影響力係数を用いて分析するとされる。

図にはないが、飯伊地域で付加価値を最も生み出しているのは保健衛生・社会事業であり、次いで小売業、電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械となっている。一方、特化係数でみると、以下の通り、電子部品・デバイス、林業、電気機械、はん用・生産用・業務用機械、農業、その他の製造業等の集積が全国平均より大きくなっている。

全国と比較して得意としている産業は、電子部品・デバイス、林業、電気機械、はん用・生産用・業務用機械、農業、その他の製造業等である。

産業別修正特化係数（生産額ベース）



産業別付加価値が最も大きかった保健衛生・社会事業の労働生産性は全国よりも低い。高齢化の加速が三遠南信地域で最も早い当地域で、保健衛生・社会事業の労働生産性の向上は当面の地域所得の上昇に資する余地があるように思われる。また、特化係数が最も大きかった電子部品・デバイスでは、労働生産性も全国よりも高い。後述するが、当地域では宿泊・飲食サービス業の生産誘発効果が高い。一方、労働生産性も全国に比べ若干高くなっており、労働生産性をさらに増加させる手段を講じることができれば、地域の所得全体の向上に資する余地は大きいのではないかと。

飯伊では、第2次産業のうち電子部品・デバイスの付加価値構成比が最も高く、労働生産性も全国より高い。

第2次産業の産業別労働生産性及び付加価値の構成比



飯伊では、第3次産業のうち保健衛生・社会事業の付加価値構成比が最も高いが、労働生産性は全国よりも低い。次いで小売業の付加価値構成比が高く、労働生産性も全国より高い。

第3次産業の産業別労働生産性及び付加価値の構成比



以下の図表は、飯伊の産業別の純移輸出額を示したもので、地域の強みのある産業を示しているとされる。小売業は、純移輸出額がプラスとなっている他、修正特化係数も1を超え、労働生産性も全国より高い。飯田市を除く下伊那13町村に加えて中川村も飯田市の第1次商圏（地域の消費需要の30%以上を吸引している地域）にあるなど、飯伊の商圏が飯田市を中心に閉ざされた構造にあり、域外消費が比較的少ないことの影響があるのではないかと。

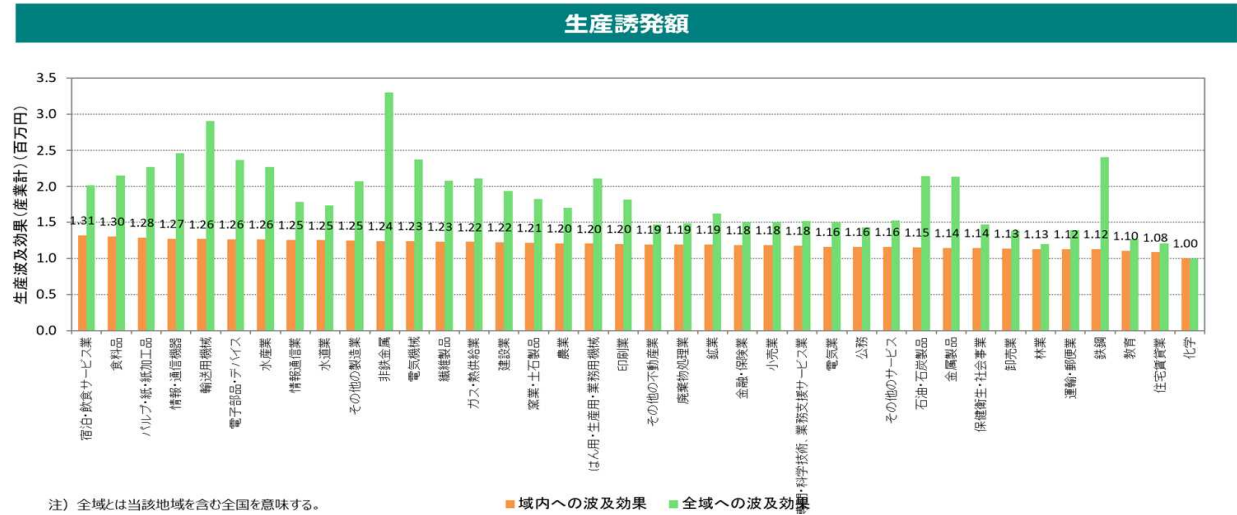
域外から所得を獲得している産業は電子部品・デバイス、電気機械、はん用・生産用・業務用機械、小売業、その他の製造業、農業等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

産業別純移輸出額



生産面における最後の図表は、飯伊の地域産業の生産誘発効果（各産業の消費や投資が100万円増加したときの域内への生産誘発効果）を示したもの。ご案内の通り、影響力係数は、地域産業連関表においてある部門に対する最終需要（すなわち、国産品に対する需要）が1単位発生した場合において、各行部門において直接・間接に必要な生産量を示すもので、生産波及の大きさを表す。前述の通り、当地域では宿泊・飲食サービス業の生産誘発効果が高い。

各産業の消費や投資が100万円増加したときの域内への生産誘発効果（全産業合計値）は宿泊・飲食サービス業、食料品、パルプ・紙・紙加工品等で高く、影響力係数が大きい産業ほど域内への波及効果が高い。



3、飯伊地域の地域経済循環における分配面の特徴

分配面では、生産から分配までの所得の流入出、地域経済の自立性について示し、住民1人当たりの所得、財政移転の状況が表されている。ここでの分配面の指標が地域経済政策の主要な成果指標であるとされる。

下表は飯伊地域の所得を雇用者所得と、雇用者所得以外の財産所得、企業所得、交付税、補助金などの財政移転からなるその他所得に分けたものである。図にはないが、飯伊地域で雇用者所得が最も大きい産業は、保健衛生・社会事業で414億円であり、次いで小売業、電子部品・デバイス、建設業、はん用・生産用・業務用機械の雇用者所得が大きい。

ところでご案内の通り、環境省地域経済循環分析では、地域で雇用されている雇用者には地域外の住民が含まれることやその他所得も地域外から移転されたものがあることなどから、地域で雇用されている雇用者の所得から地域の住民が得た所得を控除したものを、地域内所得の流入出としている。

	雇用者所得			その他所得		
	①地域内雇用者所得	②地域住民雇用者所得	③流出入(②-①)	①地域内その他所得	②地域住民その他所得	③流出入(②-①)
飯田市	2,156.1	1,984.8	-171	1,496.9	2,076.6	580
松川町	230.3	260.0	30	174.9	279.7	105
高森町	194.0	244.9	51	149.7	251.3	102
阿南町	79.7	83.2	4	40.2	140.1	100
阿智村	116.6	122.2	6	71.5	188.0	117
平谷村	7.8	7.7	-0	5.8	27.2	21
根羽村	16.7	21.4	5	11.6	51.3	40
下條村	57.6	74.4	17	32.8	89.1	56
売木村	9.0	9.4	0	7.3	33.5	26
天龍村	21.1	22.0	1	13.1	73.3	60
泰阜村	24.1	33.1	9	14.2	66.0	52
喬木村	80.8	120.5	40	60.0	147.4	87
豊丘村	100.2	133.1	33	76.5	171.1	95
大鹿村	22.2	18.6	-4	16.2	67.3	51
飯伊計	3,116	3,135	19	2,171	3,662	1,491

単位：億円

これを見ると、飯伊全体の雇用者所得は、全体の6%に当たる額が飯伊外から流入している。また、飯田市の地域内雇用所得は流出超過だが、かなりの部分が近隣町村に流出しているように見受けられる。

次に、当地域の夜間人口一人当たりの所得を見ると、総じて長野県、全国よりも低い。1でも述べたように、これをその他の所得で補って、夜間人口一人当たりの総所得が全国、長野県並みを維持している市町村が多いように思われる。夜間人口一人当たりのその他所得は、総じて高齢化率の高い市町村で高い傾向があるように思われるが、平谷村と根羽村のように、高齢化率の高い根羽村の方が、高齢化率の低い平谷村よりも夜間人口一人当たりのその他所得が大きいケースも見られる。

	①夜間人口一人当たり 雇用所得	②夜間人口一人当たり その他所得	③夜間人口1人当たり所得 (=雇用所得+その他所得)	65歳以上人口割合 (%)
飯田市	1.95	2.04	4.00	33.7
松川町	1.97	2.12	4.10	35.1
高森町	1.87	1.92	3.79	32.9
阿南町	1.68	2.82	4.50	45.3
阿智村	1.87	2.87	4.74	37.5
平谷村	1.60	5.63	7.22	34.4
根羽村	2.20	5.29	7.49	53.2
下條村	1.93	2.31	4.25	35.2
売木村	1.64	5.83	7.47	45.3
天龍村	1.61	5.37	6.99	63.7
泰阜村	1.94	3.88	5.82	43.0
喬木村	1.91	2.34	4.25	36.2
豊丘村	2.02	2.60	4.62	34.1
大鹿村	1.82	6.58	8.40	48.2
全国	2.24	1.94	4.18	29.1
長野県	2.11	2.10	4.21	32.5

※長野県、飯伊の高齢化率は長野県毎月人口異動調査令和3年4月1日現在。全国のものは「人口調査」 単位:100万円

4、飯伊地域の地域経済循環における支出面の特徴

支出面では、生産・販売への所得の還流を意識して、属地ベースで所得の流入出を分析することが重要とされる。地域の支出には大きく分けて設備投資や民間最終消費があるが、これらは当該地域の土地で行われることで地域の生産・販売の向上に寄与するものであり、他地域で消費や投資が拡大しても直接的には地域の生産・販売の向上には寄与しないからである。

民間企業は、域外との関係では、域内で生産した商品を域外に販売（移輸出）し、一方で域外で生産した商品を域内に購入する（移輸入）が、その差（純移輸出）がプラスであれば地域外の所得が地域内に流入し、マイナスであれば地域の所得が地域外に流出する。

これらは観光収入を始めとする消費や、企業の設備投資機械設備や事務所、そして住宅などの投資でも同様に生じる。

飯伊全体では、消費こそ320億円の流入超過だが、移輸出は1,359億円、投資でも458億円が流出している。

	移輸出			消費			投資		
	①移輸出	②移輸入	③純移輸出(①-②)	④地域内消費額	⑤地域住民消費額	⑥消費流出(④-⑤)	⑦地域内投資額	⑧地域企業投資額	⑨投資流出(⑦-⑧)
飯田市	3,372	3,765	△ 393	2,396.3	2,097.6	298.7	595.0	869.5	△ 274.5
松川町	471	580	△ 109	287.4	274.8	12.6	69.8	110.2	△ 40.4
高森町	304	416	△ 112	256.9	258.9	△ 2.0	59.1	96.7	△ 37.6
阿南町	95	205	△ 110	108.0	88.0	20.0	20.7	37.8	△ 17.1
阿智村	222	333	△ 111	142.1	129.2	12.9	30.7	56.4	△ 25.7
平谷村	6	43	△ 37	23.2	8.2	15.0	3.1	4.4	△ 1.3
根羽村	31	69	△ 38	17.7	22.6	△ 4.9	4.5	7.5	△ 3.0
下條村	139	202	△ 63	82.5	78.6	3.9	12.8	24.8	△ 12.0
売木村	10	37	△ 27	11.3	9.9	1.4	2.9	5.6	△ 2.7
天龍村	16	88	△ 72	33.5	23.3	10.2	6.6	10.2	△ 3.6
泰阜村	35	82	△ 47	24.0	35.0	△ 11.0	6.5	11.3	△ 4.8
喬木村	136	237	△ 101	119.8	127.4	△ 7.6	21.7	37.9	△ 16.2
豊丘村	211	292	△ 81	105.4	140.7	△ 35.3	33.0	49.8	△ 16.8
大鹿村	31	89	△ 58	25.8	19.7	6.1	9.1	11.3	△ 2.2
飯伊計	5,079	6,438	△ 1,359	3,633.9	3,313.9	320.0	875.5	1,333.4	△ 457.9

単位:億円